

甲斐市 議会だより

No.48

平成28年 7月25日発行



(平成28年7月1日撮影)

撮影場所：竜王東保育園

『プール開き たのしいな!』



甲斐市マスコットキャラクター

今号の見どころ

- 第2回臨時会 2ページ
- 第2回定例会 4ページ
- 議会構成・議会政務活動費の収支報告 7ページ
- ここが聞きたい一般質問 8ページ
- 議会改革特別委員会での検討項目・平成27年度議長交際費執行状況 14ページ
- 市民の声・議会傍聴記 16ページ



KAI City

平成28年 第2回臨時会

新たに正副議長・委員会構成が決まる

議長に小浦宗光氏



議長
小浦 宗光

副議長に米山昇氏



副議長
米山 昇

平成28年第2回臨時会(5月18日)において、有泉議長、保坂副議長の辞職に伴う議長・副議長選挙が行われ、指名推薦の結果、議長に小浦宗光氏、副議長に米山昇氏が選出されました。

また、同臨時会において監査委員、常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選出も行われました。(※新たな議会構成についてはP7参照)

なお、この臨時会の様子は、議会ホームページ(インターネット)で録画配信していますので、ぜひ視聴ください。

議長就任あいさつ 小浦宗光

市民の皆様には、甲斐市議会に對しまして、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、去る5月18日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を受けまして、甲斐市議会議長に就任させて頂きました。市政の更なる発展に向け、全力を傾注して参りたいと、決意いたしております。

今日、国におきましては、少子高齢化の進展及び全国的な人口減少問題などに対応するため、地域の資源や特性を生かした、地方創生に取り組んでおります。甲斐市におきましても、昨年度、第2次甲斐市総合計画、甲斐市まち・ひと・しごと創生ビジョン・総合戦略を策定し、甲斐市の特性に沿った新たなまちづくりを進めることになりました。私達が、日常生活におきまして、政治というものを考えます時、市政ほど身近で、大切なものはないと思います。それは、私達の生活と直結し、その苦しみも最も敏感にとらえる事が出来るのが、市の政治であるからであります。

甲斐市の将来像、「緑と活力あふれる生活快適都市」を造り出す為の、毎日の努力は、市政にかかっており、それがひいては、県政にも国政にもつながっている重要な仕事であります。

副議長就任あいさつ 米山昇

市民の皆様には平素より、甲斐市議会に對しまして、ご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

このたび、5月18日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を得て、副議長という要職に就任させて頂きました。

さて、地方分権の進展や少子高齢化、人口減少社会の到来など、本市を取り巻く環境が大きく変化しており、市政運営の翼を担う市議会の果たすべき役割と責任は、今後ますます重要になると認識しております。

そうした中、地方創生の観点から、地域経済の活性化や、未来を担う子ども達の健全な育成や

地方自治にとりまして、それぞれの自治体の政治や政策の方向性を定め、その内容をチェックし、統制する役割を果たす議会の役割は、重要であります。また、政策の中身や行政のあり方につきましても、市長と討論し、議論を通じて吟味することが出来るのは、やはり議会であり、市政をめぐる環境は、日々変化しております。市政が対応を迫られる困難な課題も次々と生じておりますので、情勢の変化に的確に対応できる、新しい時代にふさわしい甲斐市の議会運営に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

また、議会改革につきましても、これまで、数多くの改革が実行されて参りましたが、これで終わるものではありません。これまで築いてこられた甲斐市議会の良き伝統を守りながらも、更に、あるべき姿と課題を協議、検討しまして、あらゆる視点から、不断に見直しを行い、改革の努力を積み重ねていく事が、大切であります。

今後におきましても、市民の皆様方の二層のご理解とご協力を賜りますよう、お願いするとともに、益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。就任の挨拶とさせて頂きます。

教育施策の充実、さらに防災対策などを着実に推進するよう、市民と議会の対話集会などを通じて、市民の皆様のご意見を積極的に把握し、まちづくりの反映できるように努めてまいりたいです。

また、議会改革におきましては、議長とともにこれまで以上に積極的に推進し、市民の代表としてその付託に応えるとともに、開かれた議会運営に向けて全力で取り組んでまいります。

終わりに、市民の皆様からのご指導、ご鞭撻とともに、厳しくとも温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。副議長就任のあいさつといたします。

バイオマス産業都市構想特別委員会を設置

議長発議により、甲斐市バイオマス産業都市^(※)構想の実現に向けての調査及び研究を目的とする「バイオマス産業都市構想特別委員会」を設置しました。

委員や設置期間、付託事項などは次のとおりです。

- 委員長：内藤久歳
副委員長：清水正二
委員：議長を除く全議員
- 設置期間：調査及び研究が終了するまで
付託事項：(1)バイオマス活用状況に関すること
(2)バイオマス事業化プロジェクトに関すること
(3)バイオマスによる地域波及効果に関すること
(4)バイオマスによる効果の検証に関すること
(5)他の地域計画との連携に関すること
(6)予算に関すること
(7)その他バイオマスに関すること

※バイオマス産業都市
地域のバイオマスの原料生産から収集・運搬、製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、地域のバイオマスを活用した産業創出と地域循環型エネルギーの強化により、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境に優しく災害に強いまちづくりを目指す地域。



林地残材

平成28年 第2回 臨時会議案審議結果 平成28年 5月18日

○…賛成 X…反対 欠…欠席
除は地方自治法第117条の除斥

議案番号	議案名	議員名																					議決結果
		3	9	10	11	14	15	16	17	18	2	4	5	19	20	6	8	13	7	22	1	21	
承認第2号	専決処分の承認を求める件 (甲斐市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第3号	専決処分の承認を求める件 (甲斐市税条例等の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第4号	専決処分の承認を求める件 (甲斐市国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
同意第4号	監査委員の選任の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※議長(有泉庸一郎、小浦宗光)は可否同数以外は採決に加わらない。

委員会レポート

今定例会における各常任委員会及び特別委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。(6月16日、17日開催)

総務教育常任委員会

小学校施設整備費 67,000千円増

概要 敷島南小学校の児童数増加による教室不足に対応するため、普通教室2クラス分の校舎を整備するための事業費の増額

Q 整備する教室は何m²か。

A 約170m²を考えている。

自治振興事業 5,000千円増

概要 「一般財団法人自治総合センター」の自治振興事業において、2つの自治会の補助申請が採択されたことに伴うもの

Q 補助申請できるものの区分はあるのか

A 自治会活動のほとんどのものが対象となるが、建築物、車両、消耗品が対象外となる。

厚生環境常任委員会

社会福祉協議会助成事業 1,593千円

概要 双葉保健センターを双葉東小学校放課後児童クラブとして利用することに伴う、社会福祉協議会の訪問介護係の移転による社会福祉協議会の職員1名分の人件費の増額

Q 来年度以降も人件費増額を継続する考えがあるか

A 今年度、業務の内容等を踏まえて、社会福祉協議会と検討していきたい。

母子保健事業 43千円

概要 妊娠から子育て期に至るまで切れ目のない支援を推進するにあたり、必要事項を協議するため、「甲斐市版ネウボラ^(※)推進協議会」の設立に伴う報酬費の増額

Q 甲斐市版ネウボラ事業推進協議会の委員1日あたりの報酬額は

A 市の規定により、住民組織の代表者は、3,000円、医療関係団体の代表者又は職員は、6,000円である。

※ネウボラ：フィンランドが発祥で、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援システム。

建設経済常任委員会

都市公園・市立公園維持管理事業 4,482千円

概要 赤坂台総合公園内東側の円形の休憩施設付近に洋式便器2台の簡易トイレを設置する事業費の増額

Q トイレは下水道対応か。

A 水洗方式のバイオマストイレを予定している。



赤坂台総合公園

地域おこし協力隊費 730千円増

概要 竜王赤坂地区活性化事業等の農林業施策及び地域の活性化を推進するため、地域おこし協力隊を導入するための事業費の増額

Q 地域おこし協力隊員の募集について、どれくらいの隊員を考えているのか、また農業に携わっている人を中心に考えているのか

A 20歳以上40歳以下の3名を予定しており、農業経験は関係ないと考えている。

バイオマス産業都市構想特別委員会

バイオマス産業都市推進事業 7,917千円増

概要 バイオマス産業都市を推進するにあたり、市の関与の方法や取組の方針の確定に向けて、評価、検討、支援を受けるための委託料の増額

Q 委託料の詳細な内容は

A 木質バイオマス発電事業の関与に向けたアードバイス事業、熱供給事業の各種課題検討支援業務、農業関連検討支援業務を考えている。

平成28年度 6月補正予算

一般会計を87,448千円増額

一般会計補正予算(第1号)は、合併特例債や財政調整基金繰入金、コミュニティ助成事業助成金などを財源に、小学校施設整備費やバイオマス産業都市推進事業の増額などの補正予算が提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算

おもな歳入(財源)

国庫・県支出金	407万円
繰入金	1,318万円
諸収入	660万円
市債	6,360万円

おもな歳出(使いみち) ※青字と△は減額

教育費	小学校施設整備費(敷島南小学校普通教室増築)、竜王北中学校費(道徳教育推進校事業)敷島総合文化会館管理運営費、公民館庶務費、双葉スポーツ公園維持管理事業(南側外トイレ改修)	7,559万円
衛生費	バイオマス産業都市推進事業	734万円
民生費	社会福祉協議会助成事業、民間保育所整備事業、母子保健事業、健康推進事業(国の地方創生加速化交付金事業として交付決定されたため減額)	459万円
土木費	都市公園、市立公園維持管理事業(赤坂台総合公園トイレ設置)	448万円
農林水産業費	農業委員会、地域おこし協力隊に係る経費	93万円
商工費	観光推進事業(国の地方創生加速化交付金事業として交付決定されたため減額)	△110万円
総務費	自治振興事業(自治会の公民館物品購入の補助金)、企画管理費(ふるさと応援寄付金事業)、地方創生事業(国の地方創生加速化交付金事業として交付決定されたため減額)	△438万円

表彰の伝達

定例会初日(6月13日)に議員表彰の伝達式を行いました。

●全国市議会議長会(5月31日)

市議会議員勤続10年表彰
有泉庸一郎議員

●山梨県市議会議長会(4月19日)

市議会議員勤続10年表彰
有泉庸一郎議員
三浦進吾議員(※旧町議の勤続年数を前歴加算)

定例会人事

人権擁護委員候補者

任期満了に伴い、川手一郎氏(竜王1区)及び長田修氏(中下)の推薦に対し適任であると決定しました。

平成28年 第2回定例会

平成28年第2回定例会は、6月13日(月)から21日(火)まで9日間の会期で開かれ、条例、補正予算などの議案審査を行いました。
この定例会の様子は、議会ホームページ(インターネット)で録画中継を配信していますので、ぜひご視聴ください。

<p>● 議会広報常任委員会 委員長 松井芳子 副委員長 保坂芳夫 委員 清本朝雄、五味武彦、滝川美幸、保坂芳夫</p>	<p>● 建設経済常任委員会 委員長 藤原正夫 副委員長 赤澤厚、小澤重則、山本朝雄、三浦進吾</p>	<p>● 厚生環境常任委員会 委員長 五丸武彦 副委員長 金丸正司、清水英二、米山英二、山本英二、池田英二、樋口英二</p>	<p>● 総務教育常任委員会 委員長 長谷部美幸 副委員長 滝川美幸、松井芳夫、齊藤芳夫、有泉庸一郎、保坂芳夫</p>	<p>● 新たな議会構成 副議長 小浦宗光 監査委員 有泉庸一郎</p>	<p>● 議会運営委員会 委員長 重則 副委員長 明彦、五丸厚彦、赤澤厚、内藤久</p>	<p>● 議会改革特別委員会 委員長 保坂芳子 副委員長 赤澤厚、松井芳夫、齊藤芳夫、有泉庸一郎、三浦進吾</p>	<p>● バイオマス産業都市構想特別委員会 委員長 内藤久 副委員長 清水正二</p>	<p>● 一部事務組合議会議員 甲府地区広域行政事務組合 中巨摩地区広域行政事務組合 峡北広域行政事務組合</p>	<p>● 所属会派 創政甲斐クラブ 甲斐市民クラブ 嶺新クラブ 新政クラブ 日本共産党甲斐市議団 公明党</p>
---	--	---	--	---	---	--	--	--	---

条例の審査

今定例会で審査した条例を紹介します。

甲斐市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正の件

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、選挙運動用自動車の使用及びビラ、ポスターの作成に係る公費負担限度額が見直されたため、条例の一部改正を行うものである。

- Q** 金額が変わった理由は。
A ここ数年単価の改正がなかったが、諸物価等の値上げによるものと認識している。

甲斐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の件

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い、甲斐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償について、規定の整理を行うため条例の一部改正を行うものである。

- Q** 報酬額が変わったのか。
A 報酬額は変わっておらず、一部改正は、当該法律の条文の改正に伴うものである。

議会改革特別委員会の委員の選任

定例会の最終日(6月21日)に議長発議により議会改革特別委員会委員を選任しました。

- 委員長：保坂芳子
 副委員長：赤澤厚
 委員：松井芳夫、有泉庸一郎、三浦進吾
 設置期間：調査及び研究が終了するまで
 付託事項：(1)議会報告会(市民と議会の対話集会)に関すること
 (2)議員間の自由闊達な議論の場(全員協議会等)に関すること
 (3)その他議会の活性化に関すること

平成27年度 議会政務活動費の収支報告

政務活動費は、議員が調査・研究のため必要とする経費を地方自治法の規定に基づき、市の条例により会派又は議員へ交付されるものです。交付金額は、議員1人あたり月額10,000円が交付され、清算時に残額が生じた場合は返納することになっています。また、用途の透明性を確保するため、報告書へ領収書の添付が義務付けられています。

会派名	人数	交付額	決算額	返納額	用途内容
創政甲斐クラブ	9人	108万円	108万円	0	研究費・旅費：岡山県真庭市、兵庫県豊岡市、神奈川県藤沢市視察研修
嶺新クラブ	3人	36万円	34.7万円	1.3万円	研究費・旅費：東京都明治大学・財団法人日本自治創造学会研究大会、千葉県市町村アカデミー市町村議会議員特別講座II(政策立案コース)、長野県長野市・長野森林資源利用協同組合視察
新政クラブ	5(4)人 (※)	57万円	57万円	0	研究費・旅費：京都市メルパルク京都・プロフェッショナル議員のための基礎講座 広聴・広報費：新聞折込み(1回)
日本共産党甲斐市議団	2人	24万円	20.3万円	3.7万円	研究費・旅費：自治体学校in金沢、市町村議会議員研修会in静岡 広聴・広報費：広報(2回) 新聞折込み(1回)
公明党	2人	24万円	23.4万円	0.6万円	調査研究費・旅費：東京都明治大学・財団法人日本自治創造学会研究大会、千葉県市町村アカデミー市町村議会議員特別講座II(政策立案コース)、東京都虎ノ門ヒルズ・乳がん・子宮頸がん検診促進全国大会、長野県長野市・長野森林資源利用協同組合視察
無会派	0(1)人 (※)	3万円	0	3万円	

※7月から会派の変更のため

平成28年 第2回 定例会議案審議結果 平成28年 6月21日

○…賛成 ×…反対 欠…欠席
 除は地方自治法第117条の除斥

議案番号	議案名	会派名																					議決結果
		10	11	14	15	16	17	18	2	3	4	9	5	19	20	6	8	13	7	22	1	21	
議案第46号	甲斐市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	平成28年度甲斐市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	市道路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	甲斐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任

※議長(小浦宗光)は可否同数以外は採決に加わらない。

敦島総合公園運動場を公認の陸上競技場にする考えは

教育長 ▶ 施設の必要性は感じている



創政甲斐クラブ 藤原 正夫 議員

藤原 周辺各市には、陸上競技場が整備され、競技者にとって技術力の向上が図られている。関係者からも必要との声が上がっているが整備はどうか。

市長 敦島総合公園多目的運動場は、面積的には陸上競技場の設置は可能であるが、野球などで使用できないが、陸上トラックの整備や改修費、公認料、維持管理経費等、多大な財政負担などの課題が伴う。

敦島総合公園運動場へのナイター照明の設置の考えは
市長 ▶ ナイター照明は過不足なく対応できている

藤原 一般市民の利用度を考えると、夜間照明施設も必要と思うがどうか。

教育部長 災害時ヘリコプターの離着陸場となる場所である。また、利用頻度が高くなり、芝生への影響が生じるなど、状況を総合的に判断してナイター照明の設置を検討していく。



敦島総合公園運動場

陸上、サッカーなど本格的な競技会場にしてはどうか
市長 ▶ 観客席や会議室等周辺整備なども必要になる

藤原 市の大会や体育祭などの開催はどうか。

教育部長 現在でも各種スポーツ大会で使用しており、今後もスポーツ活動の施設として活用していく。

藤原 東京五輪の練習会場や合宿の誘致はどうか。

教育部長 敦島中学校には県内唯一のアーチェリー部があることから、東京五輪の事前合宿については、アーチェリー競技会場として誘致を目指している。

高齢者生活支援サービスについて

市長 ▶ 高齢者のニーズにきめ細やかに対応し、実施する



颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員

有泉 第2次甲斐市総合計画の基本目標である「健やかで心ふれあう安心に暮らせるまち」の中で、高齢者配食サービスの現状を伺う。

市長 市では、6月1日現在、54世帯57人に配食サービス事業を実施している。市が委託した事業者が、高齢者に適した食事を自宅に届けながら、見守りを兼ねた安否確認を行い、在宅福祉サービスの向上を図っている。

有泉 今後、より充実した制度にする考えは。

福祉部長 高齢者の健康状態や生活環境等に配慮しながら、配食サービスをはじめとする、様々な「高齢者生活支援サービス」を提供し、高齢者の福祉向上に努めていく。

学校給食から発生する食品廃棄物は

教育長 ▶ 給食残さは液肥化や堆肥化を行っている

有泉 学校給食への取組み状況および実態は。

教育長 学校給食は、食育の面や必要な栄養を摂取することを考慮し、栄養士がメニューや調理方法の工夫をして提供している。今後も食物への感謝の気持ちや大切さを教え、環境教育の充実にも努めていく。



ごみをへらし、いかすためのことば 3R(スリーアール)

選挙権年齢の18歳以上への引き下げについて

教育長 ▶ 義務教育における主権者教育の充実に努める

教育部長 学校だけでなく家庭や地域社会で取組んでいく必要がある。

一般質問

ここが聞きたい!!

一般質問は、議員が議案とは関係なく、行政全般にわたり市長の考え方や市政の執行状況について説明を求めたり所見を問いただすものです。なお、議会ホームページで、一般質問の録画を配信しています。

藤原 正夫 議員 9ページ

①敦島総合公園運動場整備について

有泉 庸一郎 議員 9ページ

- ①高齢者生活支援サービスについて
- ②学校給食から発生する食品ロス等の状況について
- ③選挙権年齢の18歳以上への引き下げについて

滝川 美幸 議員 10ページ

①西八幡地区に開業予定の大手スーパー周辺の環境整備について

樋泉 明広 議員 10ページ

- ①甲斐市の防災・減災対策について
- ②甲斐市国民健康保険制度の改善について

清水 正二 議員 11ページ

- ①農業施策と耕作放棄地対策について
- ②災害時の避難場所について

保坂 芳子 議員 11ページ

- ①高齢者の運転免許証の自主返納支援事業に取り組み考えは
- ②双葉保健福祉センターの有効利用は
- ③双葉西保育園の建て替えを早期に
- ④「食品ロス削減」対策を

松井 豊 議員 12ページ

- ①子どもの貧困の拡大に対する市の子育て支援策は
- ②市内の全小中学校にエアコンを設置するとともに教育職員の時間外労働の縮減を

五味 武彦 議員 12ページ

- ①バス公共交通について
- ②地域公共交通(市民バス)について

金丸 寛 議員 13ページ

- ①自然災害への対応について
- ②地方創生への取組は
- ③新年度(H28.4)の保育士の状況は



第2回定例会の様子

農業施策と耕作放棄地対策

市長 ▶ 農地利用の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消と調査結果に基づき課税強化を行う。

颯新クラブ 清水 正二 議員



清水 耕作放棄地の意向調査の結果について。

市長 今年度から農業委員会において、容易に農地として使用することが可能な農地について、使用者の農地利用の確認を行った。農地として自己管理継続や、県農業公社に貸付、市農業銀行へ登録、売却・貸付の斡旋を希望する農地については積極的に周知を図る。

清水 農業委員の任命制について。

市長 平成28年4月1日から公選制を廃し、市長が市議会の同意を得て任命する方法に改められた。

清水 民間では初心者でも簡単に農業に参加できる体験型農園をビジネスとしているところもある。このような体験型農園を本市でも取り入れては。

市長 気軽に農業とふれあえる市民農園を活用することも耕作放棄地対策のひとつと考える。先進地事例を参考に調査、研究していく。

竜王南小南交差点から昭和バイパスへの接続予定は

市長 ▶ 昭和町道30号線であり平成30年末の供用と聞いている

甲斐市民クラブ 滝川 美幸 議員



滝川 西八幡地区に大手スーパードが開業予定であるが現在アルプス通りの開国橋から甲府方面に向かう東冷間交差点は右折信号が無い。今後スーパー利用者の右折車増加が予想される。通学路でもあり右折信号は早々に必要である。設置予定は。

市長 市としても懸念しており、山梨県公安委員会に照会したところ検討する旨の回答をいただいている。市としても要望していく。



右折信号のない東冷間差点

滝川 玉幡公園の夜間照明が大変暗く夜間の利用ができないとの指摘がある。防犯上も災害時の避難場所として利用する為にも改善の必要があると思いつが。

市長 照明施設の明るさや点灯時間については近隣住民の皆さんのご意見に配慮した対応であり現在のところ変更は考えていない。

建設部長 既存の遊具を利用した公園の有効利用をお願いしたいが、今年度公園の維持管理に向けた長寿命化計画を策定するのでこの計画の中で大規模改修等を行う際の遊具更新についても検討して参りたい。

滝川 同公園を幅広い世代の多くの市民に利用して頂くために健康遊具の設置をお願いしたい。昨年12月議会でも一般質問したが再度お考えを伺う。

福祉部長 プールを利用した健康教室などを実施しているが健康器具の利用する方法もあると考える。交付金などの利用を前提とした検討を行っていく。



耕作放棄地対策赤坂農場

災害時の避難場所について

清水 指定避難場所を災害状況によって変えることについて。

市長 災害ごとに指定避難場所や一時的に避難する場所が必要であると考え、今後検討する。

清水 災害廃棄物仮置場の設置計画と新たな場所の選定の必要性について。

市長 災害の大小や仮置場までの道路状況などを勘案し、予備的に新たな仮置場を各公有地の中から確保する方針としている。災害時における災害廃棄物の収集・集積のため、必要な情報を迅速に把握することに、適切な対応に努める。

高齢者の運転免許証の自主返納支援事業導入を

市長 ▶ 他の市町村の状況を見て検討したい

公明党 保坂 芳子 議員



保坂 市の高齢者の事故の現状について伺う。

市長 交通事故全体は減少傾向だが、高齢者の事故件数は増加している。

総務部長 警視庁は、75才以上の高齢者の事故のうち約4割は「認知症の恐れ・認知機能低下の恐れ」に該当すると見解を示した。

保坂 高齢者の事故を減らすために自主返納者に支援をしてほしいか。

市長 市民バス運賃半額と75才以上の一定の条件の方に「高齢者福祉タクシーバス利用料金助成事業」を行っている。

保坂 笛吹市での自主返納支援事業を導入しては。

総務部長 県タクシー協会加盟のタクシー利用可能なチケットを一万五千円分交付するものだが、検討する。

双葉西保育園は給食室や園舎等古く建て替えが必要ではないか

市長 ▶ 大規模改修か移転か調査研究する



パーソナルサポートセンター(社会福祉協議会)での食品回収の様子

甲斐市の防災・減災対策は万全か!

市長 ▶ 災害に強いまちづくりに努めている

日本共産党甲斐市議団 樋泉 明広 議員



樋泉 熊本地震支援状況と東日本大震災の教訓を「甲斐市地域防災計画」にどう活かしたのか。

市長 市は各庁舎、図書館に募金箱を設置し、支援物資の受け付けを実施し、義援金は日赤を通じ、支援物資は甲斐市建設安全協議会の協力で現地に届けている。また、東日本大震災の教訓は、「地域防災計画」のなかに「避難所となる学校施設の耐震化」「福祉避難所の確保」「避難行動要支援者名簿の作成」等を追加し改正した。

原子力政策は国策であり、その対策も国が責任を負うべきものであり、川内、伊方原発の稼働は国と事業者が技術的安全性について、住民や自治体の理解と不安解消に考慮して判断する問題である。

市長 加入者の高齢化や医療の高度化に伴い、今後も医療費の増加が見込まれることから、引き下げは難しい。資格証の世帯が病气やけが等で受診する場合は短期証に切り替えて受診できるように配慮している。



防災訓練の様子

国民健康保険制度の改善と国保税の引き下げを

樋泉 国保年金、財政調整基金の取り崩し、国の低所得者対策の国保財政支援金の活用等で世帯当たり1万円の引き下げは可能である。また、正規の保険証を全ての加入者に交付すべきであるが。

市長 ▶ 消費者講座での啓発や甲斐市パーソナルサポートセンターの食品回収がある

保坂 今後の「食品ロス」への取り組みは。

環境部長 甲斐市環境基本計画の中間見直しの中で「さんまる・いちまる運動」を含め、「食品ロス」削減に向けての方向性を位置づける。

子育て健康部長 第2次食育推進及び第3次健康増進計画の中に取り入れていく。

河川の決壊によるハザードマップの見直しについて 市長 ▶ 年内中に浸水想定区域の公表を行う予定である

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員



金丸 自然災害が大規模化している現在、河川の決壊によるハザードマップの見直しはあるのか。

市長 現在、国、県において超過洪水に対応した氾濫シミュレーションを作成しており、年内中に浸水想定区域の公表を行う予定となっている。本市においては、平成20年度に洪水ハザードマップの作成を行っており、全戸配布しているが、今後、公表される浸水想定区域の検証を行い、変更が生じる場合は、見直しを実施していく。

金丸 釜無川の河床が以前より上がってきており、大変心配になるが、どう捉えているか。

総務部長 国土交通省甲府河川国道事務所によると、現在の河床高がほぼ計画の高さであり、管理上問題は生じておらず、土砂堆積が著しい区間については、随時砂利採取等により、河床維持管理を行うとのことです。



釜無川

新年度(平成28年4月)の保育士の状況について

市長 本市においても依然保育士確保が厳しい状況であり、今年度から主任保育士に担任を受け持つものなど、保育業務に支障がないよう対応を図っている。

金丸 主任制度を設けている趣旨とは逆行しているのではないのか。何人の主任が担当しているのか。

市長 竜王西保育園を除く、公立保育園6園には、9人おり、全員が担当クラスを受け持ちしている。

金丸 保育士に過重負担にならないよう、保育環境の整備に取り組んでほしい。

市内の全小中学校の普通教室にエアコンの設置を 市長 ▶ 子どもたちの体温調整機能の発達も必要です

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員

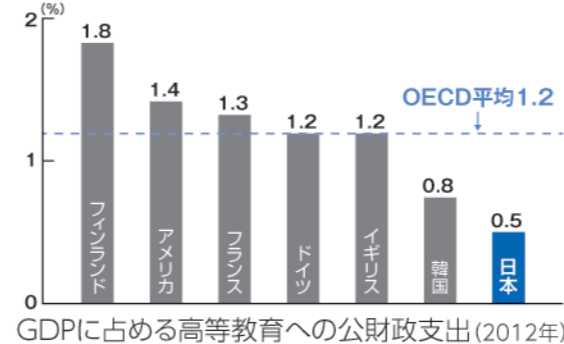


松井 すでに県内のほとんどの市町で、エアコンが設置済みとされている。音楽室へのエアコン設置をさきあげとして、速やかに全教室のエアコン設置に踏み切るべきでは。

市長 子どもたちの健康・教育・環境面と学校教育経費の優先順位を考え、また、子どもたちを自然体の学校生活でたくましい大人に育てる姿勢に変わりはない。

松井 市内小中学校の教育職員の超過勤務時間が年間500時間と推計される。市教委として、時間外勤務の実態調査と縮減の努力は行なっているのか。また、当面、超過を年間360時間に限定するため、教育職員との対話・検討を行うべきでは。

教育長 時間外勤務として認められる校外学習や修学旅行等は報告されるが、対象外の時間外勤務は把握していない。OECD国際教員指導環境調査で日本の教員の外忙化が明らかになり、県教委でアンケート調査を実施した。この調査結果の



分析を踏まえ、時間外勤務の縮減に取り組んでいく。
松井 中学3年までの医療費無料化は、全ての対象者がサービスを受けられる窓口無料にすべき。また、近い将来、高校生までの医療費無料化も検討すべき。
市長 中3までの医療費無料化については、償還払い方式での医療費の推移を注視し、検証していきたい。対象年齢の高校生までの拡大については、今後、実施自治体(山中湖村等5町村)の状況や近隣市町村の動向を踏まえ、本市の財政状況も考慮して検討していく。

市民バスの今後の廃止・継続の方向性は

市長 ▶ 外出支援対策の一つとして定着している。慎重に検討する。

甲斐市民クラブ 五味 武彦 議員



五味 県では県内各地の「ハブ(拠点)停留所」の候補地28ヶ所を発表し、来年度以降にバス事業者や市町村と連携し公共バス路線再編を具体化するとしているが甲斐市の対応を伺う。

市長 本市では竜王駅周辺と塩崎駅周辺が選定された。今後はその動向を注視する。

五味 本市を縦断する新たな路線など提案したい。

企画政策部長 県の動向を踏まえ検討する。

五味 県内でバス離れが進んでいる。小中学生に対するバス利用の教育は。

教育長 公共交通機関利用マナーや乗降方法などを体験的に学んでいる学校もある。マナーやルールを身につけ、安全で正しい利用ができるよう指導の充実に努める。

五味 甲斐市民バス全5路線が運行基準を2年続けて下回った際は廃止を検討するとしているが。

市長 高齢者などの外出支援対策の一つとして定着し



甲斐市民バス

ている状況等を踏まえ、慎重に検討する。
五味 更なる利用促進のための周知方法と対策は。
市長 広報やHP他でPR、大型スーパーと連携、バス利用者にサービスを提供する「甲斐市民バス応援事業」も展開している。
五味 路線の一部変更や延長、停留所の移設・増設の考えは。
市長 利用者のニーズ等を踏まえ、昭和町の大型商業施設へ新規乗り入れなど現行ルートに影響がない範囲で検討する。
五味 自治会の自主運行など、多角的な運行形態の研究は。
市長 今後の著しい利用状況により、検討が必要。

議会ライブ中継と録画中継をインターネットで配信中!

ご視聴は、甲斐市議会ホームページから



議会活性化の取り組みとして、議会の活動を広く公開するため、議場で行われる会議の様子をインターネットにより、ライブ中継(会議中)と録画中継(常時)で配信しています。

甲斐市議会ホームページアドレス
<https://www.kai-shigikai.jp/>

甲斐市議会

検索

甲斐市議会を検索してください。

議会だよりをもっと身近に

「i広報紙」で議会だよりを配信中

i広報紙とは

自治体発行の広報紙などをスマートフォンやタブレット端末で見ることができる無料アプリです。

i広報紙のはじめかた

① アプリをインストールする

次のQRコードを読み取る。または「Google play」か「AppStore」で「i広報紙」と検索してダウンロード。

② 初期設定

「住まいの地域」ほか簡単な個人設定

③ 使用開始

※アプリ内に表示される広告は、甲斐市議会とは関係がありませんのでご了承ください。

※アプリのダウンロードは無料で行えますが、通信費は利用者のご負担となります。

「i広報紙」QRコード



議会だよりの
表紙写真を
募集しています。



あなたの
撮った写真で
表紙を飾って
みませんか。

送付先 〒400-0192 甲斐市篠原2610番地 甲斐市議会事務局 庶務・議事係 Email / kai-gikai@city.kai.lg.jp

議会を傍聴 してみませんか!

平成28年
第3回定例会の日程
(予定)

※日程等に変更がある場合もあります

※お気軽におこしください。(議場傍聴席定員51人) 傍聴に際し手話通訳が必要な方は、福祉課へお申し込みください。(電話055-278-1691 FAX055-276-2113)

月	日(曜日)	時間	内容	月	日(曜日)	時間	内容
8	23(火)	午前10時~	本会議(初日)	9	1(木)	午前9時30分~	決算審査特別委員会
	24(水)	午前10時~	本会議(一般質問)		2(金)	午前9時30分~	決算審査特別委員会
	25(木)	午前10時~	本会議(一般質問)		5(月)	午前9時30分~	決算審査特別委員会
	26(金)	午前9時30分~ 午後1時30分~	各常任委員会 各常任委員会		6(火)	午前9時30分~	決算審査特別委員会
	29(月)	午前9時30分~	各常任委員会		7(水)	午前9時30分~	決算審査特別委員会
31(水)	午前10時~	本会議(補正予算ほか採決)	9(金)	午後3時~	本会議(決算ほか採決)		

詳しくは

市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

TEL (055) 278-1673

ホームページアドレス
http://www.kai-shigikai.jp/

甲斐市議会

検索

甲斐市議会
検索してください



〔議会広報常任委員会
委員長 松井豊 記〕

5月18日開催の第2回臨時会で新たな正・副議長と委員会構成が決まりました。この第48号の議会だよりは新構成のメンバーによる最初の編集です。

議会だよりは、市民のみならず、市民のみなさまに議会に興味を持ってもらい、議会を知ることによって市政に参加してもらえるよう、編集にもさまざまな工夫をこらしてきました。

市民のみならずには、議会だよりの購読と併せて、傍聴やインターネットによるライブ中継・録画中継のご視聴をお願いいたします。また、議会だよりの一層の充実を図るためのご意見もお待ちしております。

編集後記

議会改革特別委員会での検討項目

甲斐市議会では、議会改革を推進するため、調査・研究を行うとともに議会報告会の実施を目指すことのほか議会の活性化を目的とする議会改革特別委員会を設置しています。

今後も議会改革特別委員会では、議会の活性化に向けて検討を進めていきます。



議会改革特別委員会の様子

検討に値する項目

これまで、下記の項目について、検討の可否や時期(短期間、中期間、長期間で行う項目)について、審議を進めてきました。

番号	検討項目	番号	検討項目	番号	検討項目
1	傍聴者数の検証	8	テレビ中継	15	議会運営委員の選任方法
2	口の字型形式での委員会実施	9	休日・夜間議会	16	各委員会の役割
3	アンケート調査の実施	10	子ども議会	17	委員会研修(議員研修)のあり方
4	対話集会の総括	11	議員定数・報酬	18	甲斐市議会のあるべき姿
5	議会改革のあゆみ等の市民の周知	12	議長車	19	議会推薦のあり方
6	議会改革の中間報告や提言	13	議長所信表明の明文化	20	あて職辞退に対する検証
7	議会のデジタル化	14	決算審査特別委員会による予算への提言	21	委員会での発言回数

なお、これまでの検討により、「傍聴者数の検証」、「口の字型形式での委員会実施」、「対話集会の総括」、「議会改革のあゆみ等の市民の周知」、「議長車」、「議長所信表明の明文化」、「決算審査特別委員会による予算への提言」などが改革されています。

平成27年度議長交際費執行状況

議長交際費は、議長が議会を代表して外部団体などと交際するための費用で、慶事・弔事・会費などに支出しています。

平成27年度の議長交際費の執行状況をお知らせします。

日付	支出基準	支出内容	支出額
4月		支出なし	0円
5月	10日	弔意 元甲斐市議会議員 香典	20,000円
	10日	弔意 元甲斐市議会議員 生花	15,000円
6月		支出なし	0円
7月		支出なし	0円
8月	11日	弔意 元竜王町議会議員 香典	10,000円
	17日	弔意 元敷島町議会議員 香典	10,000円
9月	24日	接遇 タラマラハイスクール友好交流団土産	12,600円
		儀礼 タラマラハイスクール歓迎レセプション会費	1,500円
10月	2日	儀礼 タラマラハイスクールさよならパーティー会費	1,500円
11月	26日	弔意 元敷島町議会議員 香典	10,000円
12月		支出なし	0円
1月	25日	弔意 元双葉町議会議員 香典	10,000円
2月		支出なし	0円
3月	1日	接遇 議員研修土産	3,700円
	8日	弔意 元竜王町議会議員 香典	10,000円
	16日	弔意 市職員 香典	10,000円
	18日	儀礼 大村智氏 ノーベル生理学・医学賞受賞記念祝賀会	10,000円
支出合計			124,300円

市民の声



スポーツ特別表彰や 同市民栄誉賞の創設を

三井 悟
[長塚]

リオデジャネイロオリンピックがまもなく始まります。

国内でも4年後に開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック」に向け、機運が高まっています。本市では甲州弁ラジオ体操も定着して、甲斐市チャレンジデーも毎年開催され、大勢の市民参加により、大いにその成果が上がっています。

日頃、健康増進やスポーツ振興に格段のご尽力されている保坂市長にご提案があります。今回、更にスポーツの拡大をするためにお願いしたいプロジェクトとして、GOGO「甲斐市チャレンジ2020」CHANCEです。

2020年までの間、本市に関係があるスポーツ関係者を対象に優れた成果を取めた個人・団体に、市長より「甲斐市チャレンジ」スポーツ特別表彰と副賞を、更に強化選手や五輪出場の可能性のある選手個人・団体や高校スポーツ全国大会出場等には同市民栄誉賞の表彰と副賞を行うものです。それぞれその栄誉を称えと共に、市民一丸となって甲斐市のスポーツを盛り上げていこうと言うものです。

是非ご一考くださるようお願いいたします。



議会傍聴記

石田冬子
[名取区]

6月13日の午後に第2回定例会一般質問を傍聴しました。初めての議会傍聴なので会場に入るのにも少し緊張しながら資料を頂き席に着きました。傍聴席からは市長をはじめ市の管理職の方々の真剣な表情が伺えました。質問する議員さんも市民の代表らしく地域の生活向上になるようにとの熱意が感じられました。残念なのは他の議員さんの顔が全く見られず表情が分からなかった事です。しかし議会の生の声を聞いた事は市政に対する興味が深まり良い経験が出来ました。質疑の中で「開かれる議会」という言葉を耳にしました。議会の目指すテーマだと思いました。市民との対話集会等で多くの人の意見や要望等を聞く事により議会と市民の信頼関係が生まれ開かれた議会に繋がると思います。

議会日よりNo.47の表紙に甲斐国際交流協会の「外国人を囲む地域交流会」の写真が載っており多くの市民に甲斐国際交流協会の存在を知って頂きました。協会に携わる私にとってはとても嬉しく議会を傍聴する一つのきっかけとなりました。

市議会がネットで配信されていると知り家でも手軽に傍聴出来るのはすばらしい事です。多くの人に議会を傍聴して頂き私達の「生活快適都市」甲斐市を盛り上げましょう。

引越しのお手伝い致します

不用品はございませんか？

家電製品、自転車、バイク、金属全般まで
買取致します

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

有
料
広
告

甲斐市創業塾 平成28年度カリキュラム

創業希望者・創業予定者・創業に興味のある方・第2創業をお考えの方へ

- 8/20(土) … 創業の心得・創業時の資金調達
- 8/27(土) … 事業のアイデアの創出・マーケティング
- 9/ 3(土) … 創業時の手続き
- 9/11(日) … ビジネスプランの作成①
- 9/24(土) … ビジネスプランの作成②・発表

※各日:13:30~17:00実施

受講料:3,000円 定員:20名 申込締切日:8月10日(水)

お申し込みに関するお問い合わせ

甲斐市商工会
http://kai-shokokai.jp

甲斐市篠原2710-1
TEL 055-276-2385
甲斐市商工会

議会広報常任委員会

委員長	松井 豊	委員	五味 武彦
副委員長	保坂 芳子	委員	清水 正二
委員	滝川 美幸	委員	山本 今朝雄

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>